S.P.Vつうしん

発行　スペースパークボランティアの会　広報部会

〒963-8002　郡山市駅前２－11－１ 郡山市ふれあい科学館内　TEL 024(936)0201

第６号

平成 17 年 10 月

暑かった！！イベントも熱かった！

☆サイエンスフェスティバル２００５＆新会員特集☆

みなさんは今年の夏休みはいかがでしたか？ふれあい科学館ではさまざまなイベントが繰り広げられました。

展示ゾーンで開催されたサイエンスフェスティバル、各地の天体観望会などには、私たちＳ.Ｐ.Ｖも参加してパートナーとして盛り上げていきました。ほかにも私たちは積極的な活動？を展開、ついに科学館から飛び出しました！　ビッグアイ６Ｆで開催された市内遺跡発掘調査成果展「再現！縄文こおりやま」へ案内サービスグループが初出張！また大町商店街主催「おおまち笑・Show・商！」へＳ.Ｐ.Ｖとして初参加しました。“楽しむボランティア”という私たちにはピッタリのイベントでした！今号の前半は様々なイベントに参加した様子、後半は７月からボランティア活動を開始した新会員にスポットをあててお贈りします！

☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★

科学する心を育む一端に･･･　科学ボランティア

私たち科学グループは科学実験工作のメニューを決めるときに、メンバー全員でアイデアを出しあってそれを選択・実行しています。2005 年サイエンスフェスティバルのテーマは「マイ磁石をつくろう！」でした。そのマイ磁石（う～ん。怪しいヒビキ）とは、私たち誰もが幼少のころ遊び、近頃なんとなく疎遠になっている“永久磁石”をクギや鉄芯を使用して作り、そのマイ磁石を使っていろいろ遊ぼう！というものでした。事前準備のミーティングを数回重ね、失敗が無いよう予備実験を繰り返すミーティングは参加者全員が実に真剣そのもの。この地道な下準備こそ、活動のサクセスの源なのです。

されど磁石、たかが磁石。でもマイ磁石

さてＳフェスティバル開催初日､心配と不安の入り混じる･･･いやいや！期待と自信に心境が変化していました。良かった大成功！ついに親子連れのお客様で私たちのブースが混雑し始めました。若いお母さんが一言、「小さい頃こういう遊びしたけど、今の子はやらないねぇ･･･」　ボランティア参加者一同、この言葉に心が動かされました。「科学する心・考える心」を大事にし、私たち科学ボランティアが理科離れ・科学技術離れを食い止める一端となれれば素晴らしいことです！これからも私たちはみなさんの科学に対する興味や関心を引き出し、楽しませることのできるメニューの開発やボランティア活動にがんばっていきます！《加藤》

磁石の釣堀りは大盛況！大漁！大漁！

自分だけの光の虹を･･･　天文ボランティア

あなただけの光の虹はいかが？

８／16（火）、私たち天文グループは「簡易分光器」のブースをＳフェス出展。さて、この耳慣れない「簡易分光器」と言う言葉･･･どんな物を想像するでしょうか。難しい説明は無しに「光を虹の様に見ることが出来る」という優れもの!?なのです。“さあ、あなたも「自分だけの光の虹」を私たちと一緒に探しに行きませんか？”をキャッチフレーズに、普段は館外での天体観望会など夜間活動を行っている私たちが、館内で！昼間に！科学工作に挑戦。当日は、たくさんのお客さまに分光器工作をお楽しみいただきました。“一体どんな物が出来るのか？”工作しているみなさんのワクワクとした表情、そしてついに完成した時の満面の笑み!!～それは私たちボランティアが一番の力を、元気を、うれしさを感じる瞬間～。これからもこの笑顔のためにがんばります。《椎野》

再現！縄文こおりやま　案内サービスボランティア

石器でうまく切れるかな？

案内サービスグループは、７月上旬にビッグアイ６階で開催された市内遺跡発掘調査成果展へ初の出張ボランティア活動を行いました。私は“大好きな縄文時代”の企画展ということで大緊張！しかしモノホンの縄文式土器や石器などを目の前にして感動することが多々あり、楽しい体験をしながら活動を行いました。事前に文化財調査研究センターの日塔先生の縄文時代についての講義を受けたり、図書館で下調べをして、縄文の歴史や暮らしぶりを勉強（一夜漬け？）して活動に挑戦しました。というのも館職員からの脅かしで、もしかすると展示物説明をするかもしれないという話があったから。初日は少しビビりながら出かけましたが、本来の活動は縄文土器（なんと本物！）を手に取って話しをしたり、黒曜石などの石器で切り絵をして遊ぶコーナーでアドバイスをしたりと、子ども達と楽しく過ごすひとときでした(正直ホッ)。あらためてボランティア活動の楽しさを味わいました。 私からのささやかな希望･･･、安積開拓よりもっともっとず～っと前の、縄文弥生・古墳時代の豊かで素晴らしい郡山の歴史をもっともっと市民のみなさんに知ってもらいたいなぁ･･･。《佐久間秀》

おおまち笑・Show・商　「スペースパークであそびま笑!!」の観望会

太陽の黒点み～つけた！

８月７日（日）、Ｓ．Ｐ．Ｖは大町商店街主催の「おおまち笑・Show・商」に初参加！私たちは太陽観望会と、科学工作「くるくる噴水」と風力発電体験「おおまち風力発電所」コーナーを出展しました。特に真夏の太陽観望は暑さと日焼けとのたたかい。「太陽を見ていきませんか！」の声にも熱が入ります。小さい子ども連れのお母さん、洒落た老夫婦、黒点を見つけた方々は一様に感心して行かれます。なかには太陽についていろんな質問を投げかけるお子様もいて、この子たちが将来宇宙についての興味や夢を広げて欲しいと思いました。一つ残念に感じたのは中・高校生らしき年代が呼びかけても誰一人近づいて来なかった･･･。なんとなく理科離れの現実を見たような気が。やがて暑い太陽が西に傾き、観望会もおしまい。つかの間の晴れ間でしたが絶好の太陽観望ができました。太陽を見て感動を共有できた人たちに感謝・感謝の１日でした！《捧》

天ボラの知識の泉⑤【中秋の名月】

9月18日(日)は、旧暦の8月15日『中秋の名月』でした。中秋の名月といえば、満月と思われますが実は年によって異なります。これは月の軌道が円で無いなどの理由で、新月(朔)から満月(望)までの日数が約13.8～15.8日の間に変化するため、旧暦の15日＝満月とならないのです。ちなみに今年はちょうど満月ですが、来年は1日・再来年は2日満月よりも早い中秋の名月となります。

☆新メンバー初活動後のひとこと･･･！

◆ボランティアとして展望ロビーで過ごすひととき、「やりがい」や「ふれあい」の言葉はまだ先の先。でも活動中、背中をシャンと伸ばしての数時間は悪くない。紙芝居と出逢って大きい声を出し子ども達と同じ目線で話すわずかの時間、なぜかスッキリ感さえ味わえる？不思議な感情さえ覚えます。

《床並》

◆「福島県で一番高いところでボランティア活動がしたかった…」なんてこと言ったらヘン？そんなきっかけで仲間に入れてもらった案内サービスグループは、みなさん活動でも人生においても先輩ばかり。まだまだ見よう見まねだけど、ここでの出会いは一期一会。僕の「お気に入り」の場所が、たくさんの人の「お気に入り」の場所になっていけばいいなぁ。《二瓶》

鉄道ジオラマグループ　H17第一期新規登録会員者数　３名

◆新しいことにチャレンジするには勇気が必要です。友人からの誘いもあってボランティア活動をする機会を得ることができました。多少の不安はありましたが、接客や鉄道ジオラマの案内等に奮闘しております。この鉄道ジオラマを通して、今まで構築してきた知識や技術を生かしチャレンジできればと考えています。《信楽》

◆さて、ボランティア活動といっても具体的にはどのようなことからはじめればよいのか迷っていました。まずは、子どもさんには鉄道模型の説明、遠方から来郡された方には、郡山の街についての説明をしてみました。お客様への反応は好感触で、自信がついてきました。今後も経験を生かしつつ、楽しくボランティア活動を行っていければと思っています。《蛇石》

科学グループ　H17第一期新規登録会員者数　９名

◆子ども達とふれあうことができ、とてもいい経験ができました。最初はなにをすればよいのか全然わからず戸惑っていましたが、慣れてきて楽しくなってきました。こんな経験は高校生活ではなかなか経験できないので、様々に役立てることができると考えています。《阿部》

◆これまで、ボランティアに参加することがなかったのでいい経験になりそうです。活動は今まで考えていたより、ずっとたいへん･･･。子ども達にもわかりやすく教えるのが難しく苦労しました。でも子ども達の笑顔はとても嬉しかったのでこれからもガンバリます。《大星》

◆子ども達に接して感じたことがひとつ。普段の言葉が出ないよう注意して話をするのは難しい･･･。まだまだこれからもボランティア活動を続けていき、小さいことから大きいことまで学んでいきたいと思います。《鈴木》

天文グループ　H17第一期新規登録会員者数　13名

◆こども祭りのボランティアがきっかけで始めました。なんとなく星が好きだったのですが、実際にはすべてが勉強、質問されてもアタフタ助け船を求めてばかり･･･。活動を通して様々な人と知り合い普段とは違う視点で意見を聞くことができる、とても貴重な場だと思います。受験生なのにと心配してくれる方もいますが、月数回の活動なので息抜きのつもりで楽しく参加していきたいと思っています！《岡部Ｋ》

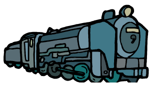
◆星や宇宙に興味があった私にはピッタリだと思いました。初めて望遠鏡で見た月や土星の輪などは肉眼では見えないもの。とてもきれいでした。活動をしながら学習できることはうれしいことです。まだまだわからないことが沢山ありますが、できるだけ多く参加して、早く説明できるようにがんばりたいと思います。《岡部Ｍ》

☆７／15 からの第二期新規登録者数は 11 名！現在修行中？10 月から活動開始、乞うご期待！！☆

Ｓ．Ｐ．Ｖ 活動情報（～12月）

案内ｻｰﾋﾞｽ ★“昔懐かし”紙芝居 ◇平日11：30～、土日祝11：30～、14：30～（約10分）☆随時実演
鉄道ｼﾞｵﾗﾏ ★ｼﾞｵﾗﾏｼｮｰ案内 ◇平日11：00～のみ、土日祝11：00～、15：00～（約20分）
科　　学 ★かんたん実験工作 ◇土日祝10：00～16：00 展示ｿﾞｰﾝ入館者，駅前ｲﾍﾞﾝﾄ出展 ◇11/6(日)予定
天　　文 ★火星大観望会 ◇10/29・30(土・日)19:00～こどものもり公園，駅前観望会11/12(土)18:00～（約1時間）
※ふれあい科学館の休館日を除きます。なお、都合により活動が休止となることがありますのでご了承下さい。

イベント 情報 鉄道フェスティバル!!



◇10／8（土）～10（月・祝）10：00～17:00
※10日のみ ～16：00まで

みなさんおまちかね！ついにこの時期がやってきました。鉄道の日記念・鉄道フェスティバルが開催されます。今年も大好評につき３日間開催！Ｓ．Ｐ．Ｖ鉄道ジオラマ会員所有のＮゲージ鉄道模型操作体験や、貴重な鉄道資料の展示もあり、経験に基づく貴重な体験談は必聴!!

○Ｎゲージ鉄道模型操作体験コーナー
○旧国鉄・ＪＲ関連の鉄道資料コレクションの展示
○自家発電で鉄道模型！「ジ(THE)転車でGO！」ほか楽しさいっぱい

昨年度も大好評の鉄道フェスティバル

★『Ｓ．Ｐ．Ｖつうしん』発行予定　第7号 12月下旬 / 第8号 3月中旬 / 第9号 7月中旬
★Ｓ．Ｐ．Ｖの楽しくてタイムリーなボランティア活動情報をＨＰでお知らせしています。
→ＨＰ　http://www.spacepark.city.koriyama.fukushima.jp
★会員募集やボランティア活動についてのお問い合わせはふれあい科学館 TEL 024(936)0201まで

今号のキラ星☆さん 案内サービスボランティア 芳賀さん　主婦

生粋の郡山っ子なのに地元の歴史には疎かった私も、ボランティアを通して知り合った知識人の方のお陰で随分成長できました。ふり返れば、歴史は特に大嫌いで授業中は大あくびばかり･･･（嫌いになったのは年号ばかりに偏る先生のせい？）と言い訳しながら今日まで来ましたので、この年齢になってようやく分かるともう目からウロコ状態！そんな素敵な仲間たちに支えられ早三年目になりました。そんな私ですが、趣味のトレッキングでは展望ロビーから見える美しい山々にはほとんど登っていますので、お客様からたずねられても、こちらは断然得意分野。今なら「きのこの状況はどうだべない？」なんて質問にもバッチシです。これからも生涯学習！知識と笑顔を充実させて、お客様の来館満足度100%目指してがんばります。素敵なサインも練習しなくちゃね！（笑）

編集あとがき

美しいハーモニカの音色♪

カシオペア（和名：碇星）が美しく見える時節になりました。この星は北方の天空に見え、５つの星がW字形に並んでおり、北斗七星と共に北極星を探す目標にもなります。ふと、夜空に輝く星空を見上げているうちに、かつて坂本九が歌った「見上げてごらん夜の星を」のメロディをなぜか口ずさんでいました。ささやかな幸せを感じている自分に。
さて、Ｓ．Ｐ．Ｖつうしんも6号の発行となり､内容も充実？してまいりました。新たな仲間も増えたところで、その新会員にスポットを当てた初活動の感想等を掲載。これからもＳ．Ｐ．Ｖの広報誌として、みなさんにＨＯＴなボランティア活動の情報を伝えていきます。

◇案内サービス 広報部　添田　守